

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の度合	リスク評価	優先度	リスク低減措置
①準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の打ち合わせ(KY)活動</li> <li>作業方法の確認</li> <li>作業人員・資格の確認</li> <li>作業位置・規制の確認</li> <li>使用機械の確認・点検</li> <li>保護具の確認・点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全監督作業指示書による。</li> <li>事前調査により立案された作業計画をもとに、職員・責任者間で作業方法等について確認する。</li> <li>伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認。 チェーンソー ⇒ 伐木等特別教育 刈払機 ⇒ 刈払機取扱作業安全衛生教育 トリマー ⇒ 振動工具取扱作業安全衛生教育 高所作業車 ⇒ 高所作業車運転技能講習</li> <li>チェーンソー、高所作業車、パッカー車、工具等の点検。 ヘルメット・安全靴・高視認性作業服・自発光フォック(夜間) チェーンソー使用時の保護具 チャップス・チェーンソー用手袋・アムカバー 高所作業車使用時の保護具・備品 堅牢制止用器具・無線機・拡声器 刈払機・トリマー使用時の保護具 肘ガード・防護手袋・保護カネor保護面 カマ・ノコ使用時の保護具 前切断用手袋</li> </ul>						
現場着 ②現場KYの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任者/作業員全員にて現地状況を確認する</li> <li>現地状況と作業計画の照らし合わせを行う</li> <li>照らし合わせの結果、作業計画の詳細を決定し従事者へ周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所・構造物・ケーブル露出箇所(架空線・添架配線等)も併せて確認</li> <li>主に、施工範囲・作業方法・作業手順・使用機械・災害防止のための措置</li> <li>切り下げが必要な樹木の選定。</li> <li>計画と異なる事案については担当者と再度打合せを行う。</li> <li>大幅な作業変更となる場合は作業を中止し作業計画の再作成を行う</li> <li>周知事項 施工範囲・作業方法・作業手順・使用機械・災害防止のための措置 危険箇所・構造物・ケーブル露出箇所(架空線・添架配線等)</li> <li>一人作業とならないよう人員配置</li> </ul>						
③注意箇所の明示・養生	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意すべき箇所の明示・注意喚起を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>露出ケーブルにリボンテープで目印をつける。</li> <li>排水溝・マス等にはコンパネ養生する</li> </ul>						
④作業中の滑落・墜落対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>急勾配の法面やC-BOX上等で作業時、滑落・墜落防止対策実施</li> <li>落下物防止対策の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工前に現地を確認し、必要であれば親綱、安全帯等を使用し、滑落・墜落防止対策を行う。</li> <li>トンネル上部など供用車線上で作業を行う場合は落下物防止対策を必ず設置し伐木などの落下防止をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法面から滑落・転落のリスク</li> <li>伐木落下による第三者被害リスク</li> </ul>	4	2	6	Ⅲ	親綱、安全帯の使用
⑤ケーブル付近の伐木作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>※⑥伐木作業を確認</li> <li>仮設ケーブル付近の伐採を優先に行う</li> <li>ケーブル周囲には伐倒した木がないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルの目印が常に確認出来る状態で施工を行う。</li> <li>ケーブル付近50cmでは機械作業を行わない。</li> <li>伐木はケーブルより4m以上離れた位置に降ろす。</li> <li>仮設ケーブルの連続してある箇所は施工しない。(施工時は事前協議を)</li> <li>点在する露出ケーブルについては事前に前後3mほど総合観or現場責任者の立会のもと作業完了まで行う。</li> <li>ツル等が絡んで引きずり込めない場合カマ等を使用し人力で処理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブル切断のリスク</li> </ul>	4	4	8	Ⅳ	作業前の現場確認をする。 ケーブル付近50cm程度は手刈り。 もしくは除車剂散布する。
⑥伐木作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐倒木の確認</li> <li>伐倒方向の決定</li> <li>伐倒作業</li> <li>切り下げ伐採時は高所作業車を使用(複数作業員による作業)</li> <li>つるし切りを基本とした作業。</li> <li>切り土法面の伐採</li> <li>機壁上部等、高所からの荷卸作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支障物の無いことの確認。</li> <li>有資格者による伐木(チェーンソー)作業。 チェーンソー使用時チャップス等の保護衣の着用。</li> <li>樹木の伐採前に責任者・切り手と打ち合わせを行い、使用する牽引具(チルホール・介助ロープ)・補助人数の選定を行う。</li> <li>チェーンソーのキックバックに注意、周辺作業員へ声を掛ける。</li> <li>事前に選定した工法で伐倒出来なかった場合は一時中断し、再度作業方法の見直しを行う。</li> <li>胸高直径20cm以上の立木は受け口を作り伐倒する</li> <li>伐倒時、立木の樹高の2倍の区域内への伐倒者、合図者、牽引補助者以外の立入り禁止する。</li> <li>隣接での伐倒作業は、立木の樹高の2.5倍の区域内への伐倒者、合図者、牽引補助者以外の立入を禁止する。</li> <li>高所作業車手順書による。</li> <li>高所作業車を使用し、高木の切り下げを行う。</li> <li>作業可能な範囲は高所作業車を使用する。</li> <li>高所作業車を使えない場合は、安全帯を身近な樹木に掛け転落を防止する。</li> <li>高所作業車が使えず、身近に樹木がない場合は横方向に親綱を張り安全帯をとる。高所作業での転落注意。</li> <li>伐採箇所が機壁上部の様に高所からの場合は移動式クレーンを使用し、安全に荷卸を行う。(落下させての荷卸はしない。)(移動式クレーンのマニュアル準用)</li> <li>枝・葉などは軽い為、風等の影響を受け易いので注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐倒時の傷害リスク 伐倒木の直撃・挟まれ</li> <li>チェーンソーによる傷害リスク 自身・他者</li> <li>伐倒方向の予期せぬ変化による第三者被害リスク</li> <li>法面から滑落・転落のリスク</li> </ul>	5	1	6	Ⅲ	介助ロープ又はチルホールを使用。 合図の徹底・複数人で行い 滑車等を使用し伐倒範囲外から牽引する。
				5	1	6	Ⅲ	チェーンソー使用時は作業員との距離をとる。
				5	2	7	Ⅳ	車線にかかる恐れのある樹木は必ず高所作業車を使用し、車線へ支障のない程度まで切り下げから後の伐倒を行う。
				4	2	6	Ⅲ	親綱、安全帯の使用
積み込み作業・清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>積み込み</li> <li>積み込み箇所の掃除</li> <li>※パッカー車への積込は、【パッカー車積み込み作業手順書】による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車面の駐車は、出来るだけ見通しの良い場所へ置く。</li> <li>積込作業はラバコン側では行わない。</li> <li>ヒアブを使用して伐採木を積み込む時積荷の下に入らない</li> <li>小枝・落ち葉の整理。</li> </ul>						
運搬	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定された場所に運搬する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラックの積み荷飛散防止の確認。</li> <li>パッカー車のゲートロック確認。</li> <li>一般道は制限速度で走行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアブ使用時に伐採木の下敷きになる。</li> <li>枝が跳ね上がり目をつけがする。</li> </ul>	3	1	4	Ⅱ	伐採木の下に入らない
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切りくず・道具等の放置確認。</li> </ul>		2	3	5	Ⅲ	保護メガネ・防護面を使用する

注意事項

- 現場責任者の指示により作業を進める。
- 高木処理を行うときは、上部の伐採木と親木をロープ掛けをする。(伐採木落下防止)
- 伐倒方向には立ち入らない。
- 介助ロープを取り付け伐倒を行う。
- 伐採木を高所作業車から降ろす場合は、ロープを使用する。(上下で連絡を取合い、合図のもと下ろす)
- 高所作業は安全帯を使用する。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する